

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表（全体）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備					
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			スペースは基準を満たしている。活動内容に応じて空間を区切り、利用者が安全で快適に過ごせるよう環境設定している。
2	職員の配置数は適切であるか	○			配置数は満たしている。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			室内は段差がない構造になっている。車椅子の場合、狭い空間や手すりが必要な所もあるため、必要に応じて環境設定する。
業務改善					
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画して保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○			業務の流れや内容をマニュアル化している。PDCAサイクルで運用し業務改善に繋げている。
5	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			評価の結果をホームページで公開している。
6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			保護者向け評価と同様、ホームページで公開予定。
7	職員の資質の向上を行うために、研修や勉強会の機会を確保しているか	○			第三者への依頼・評価を検討していく。
8	外部研修会の積極的な参加に加え、事業所内勉強会を定期的に行い、知識や技術の向上に努めているか	○			外部研修会の積極的な参加に加え、事業所内勉強会を定期的に行い、知識や技術の向上に努めている。
適切な支援の提供					
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズチェック表やモニタリング表を使用しアセスメントを行っている。子どもや保護者のニーズを把握し、生育暦や障がい特性を考慮した上で客観的に課題や必要な支援について分析し、計画を作成して発達検査等の結果から子どもの実態を把握し、支援計画の作成や日頃の支援に活かしている。
10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			事業所会議等で活動内容の検討を定期的に行い、担当者を決めて進めている。
11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもの実態に応じて活動内容を決定し、子どもの興味・関心を引き出せるよう文化的行事や体験学習も取り入れている。
12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を設定して支援しているか	○			活動内容に応じて課題を設定し支援している。
13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別課題と集団活動時の課題を把握してそれぞれの視点から個別支援計画を作成している。職員間で支援目標等を共有し一貫した支援に繋げている。
14	支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝の支援会議で活動の流れを確認。活動内の役割や支援方法を共有している。
15	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の支援や活動について振り返りを行い、新たな支援方針の検討も行っている。その日不在の職員には申し送りノート等で伝達している。
16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援計画に沿って支援が行われ改善や自らのスキルアップにつなげているか	○			記録の書き方マニュアルを作成し記録の統一を進めると共に、毎日の記録の読み合わせにより支援計画に沿って支援が行われているか確認している。
17	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度の見直しに加え、必要に応じて計画の変更を行っている。

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			ガイドラインの読み合わせの時間を設けている。活動内容とガイドラインの内容を照らし合わせながら支援を行っている。
関係機関や保護者との連携					
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者や児童発達支援管理責任者と共に必要に応じて職員も会議に参加している。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎時の申し送り、学校連絡会や行事の参加を通して情報共有を行い、事業所の活動については通信で毎月学校にお知らせしている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在該当者はいないが、必要に応じて受け入れ体制を整える。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			現在該当者はいないが、必要に応じて情報共有を行う。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			現在該当者はいないが、障がい福祉サービス事業所の見学体験を活動に取り入れ、事業所との繋がりを作っている。移行する子どもがいる場合は担当者会議等でそれまでの支援内容を提供していく。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			支援センターの研修や勉強会に積極的に参加し、関係機関との繋がりを作っている。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			子ども文化会館等の公共施設の利用やイベント参加を通して交流の機会を設けている。
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			熊本市のネットワーク会議には参加している。来年度より子ども部会にも参加する。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳により日頃の子どもの様子を伝えるようにしている。保護者のニーズを踏まえて支援計画を作成している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			個別支援計画に基づき事業所での支援内容を伝えている。更に事業所と家庭で支援の一貫性を保つために家庭での対応方法についてもアドバイスは行って
保護者への説明責任等					
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始前や契約更新時に重要事項説明書や契約書の説明を通して運営規則や利用者負担等について説明している。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時、相談に応じている。必要に応じて専門機関に連絡し助言を頂いている。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○		保護者交流会は毎年実施しているが、交流会との認識がない場合や必要性を感じないという意見もあり、参加は少ない。案内や開催方法を工夫し実施す
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合は管理者や担当者が迅速に対応している。報告書を作成し解決策の検討や再発防止に努めている。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月通信を発行し活動の様子や行事予定を掲載している。活動の総括として年に1度は特別号を発行し、情報発信している。
35	個人情報に十分注意しているか	○			同意書を作成し、情報の取り扱いについて保護者へ許可を得るようにしている。守秘義務の徹底については運営規則の内容を定期的に確認し徹底するよう
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			口頭伝達だけでなく、通信や連絡帳・メールなどで視覚的に情報を伝えるよう配慮している。

37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民を招待できるような行事（夏祭り等）企画の検討を行う。
非常時等の対応					
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、事業所内に掲示している。勉強会等でシュミレーションを行っている。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回避難訓練を実施している。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修や勉強会を定期的に行い、虐待防止を徹底している。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			やむを得ず身体拘束が必要な子どもの保護者には理由や方法を十分に説明し同意を得た上で計画に記載している。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在該当者はいないが、アレルギーのある子どもがいた場合は医師の指示書や保護者からの情報を共有し対応
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で共有している。